

プライマリケアにおける腹痛診療を見直す ～急性腹症における初期対応のポイント～

日時 2017年6月7日(水) 午後7時～8時45分

場所 つくば国際会議場 小会議室 405

(つくば市竹園 2-20-3 当日連絡先 070-4345-2344)

■参加費:無料 ■駐車料:各自ご負担願います。

◆ 内容 ◆

総合司会 なるしま内科医院 院長 成島 勝彦 先生

【特別講演】……………午後7時～8時

「プライマリケアにおける腹痛診療を見直す～急性腹症における初期対応のポイント～」

演 者 小豆畑病院 院長

日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野診療准教授 小豆畑 丈夫 先生

【Q&Aコーナー】……………午後8時～8時45分

Q&A コーナーでは、事前に研究会に寄せられた質問とフロアからの質問を交えて進めます。

質
問
例

- ◆ブスコパン、ボルタレン座薬は安易に使うべきではないか？
- ◆腹部レントゲン、腹部エコーはスクリーニングとして全例にすべきか？
- ◆腹痛をきたす消化器官以外の疾患について
- ◆小児期の急性腹症で、乳児期、幼児期(就学前)、学童期の各々の特徴はありますか？
- ◆逆に高齢者に多い急性腹症は为什么呢？
- ◆虫垂炎はポピュラーな疾患と思いますが、最近の診断の流れはどうなっているのでしょうか？ 腹部CTで虫垂腫大を確認などが行われているようですが。
- ◆虫垂炎疑い止まりの時に経口抗生剤は処方してよいのでしょうか

その他、事前質問とフロアからの質問にお応えします。(下欄で質問をお寄せください)

■主催 一般社団法人茨城県保険医協会

■単位 日本医師会生涯教育講座認定単位取得予定(CC53) / 日本薬剤師研修センター単位取得予定

参加申込書

切り取らずにFAX
029-822-1341へ
TEL029-823-7930、
info@ibaho.jpでも可
茨城県保険医協会

医療機関名	所属医師会
参加者名(ふりがな)	
質問例の他に演者に 聞いてみたい質問	